

vol.
300
New Year 2022

《特集》
年頭のご挨拶
RKKグループ
新年トップアンケート
年男・年女
〔300号記念〕ぬりえコンテスト
受賞作品紹介

RYUKAI



RKK Group Magazine
りゅうかい



夢とくらしと文化をはこぶ

 琉球海運株式会社

RKK GROUP

沖縄港運(株)
株沖縄輸送サービス

宮古港運(株)
株九州輸送サービス

八重山港運(株)
株きょうはい

沖縄荷役サービス(株)
国際輸送(株)

株沖縄急送
琉海リース(株)



Contents **RYUKAI** New Year 2022 vol.300

4 【特集】年頭のごあいさつ

琉球海運株式会社 代表取締役社長 宮城 茂

6 【特集】RKKグループ 新年トップアンケート

10 【特集】年男・年女

12 職場紹介

13 Interview わたしの仕事

14 RKK Group News

16 【300号記念】ぬりえコンテスト受賞作品紹介

18 郷愁

19 かわいい天使誕生

裏表紙 写真で振り返る琉球海運

アジア～沖縄～本土をつなぐ
琉球海運グループ



2022年1月20日発行

発行：琉球海運株式会社 企画部 那覇市西1-24-11 ☎098-868-8167 印刷：光文堂コミュニケーションズ株式会社

謹賀新年

琉球海運グループの皆さん、明けましておめでとうござ
います。

今年も、新型コロナの第六波が懸念される中で新年を迎
えることになりました。年末年始の休暇も、以前とは大き
く違う過ごされ方をされた皆さんが多かったのではないで
しょうか。長く続く新型コロナが、私達のくらしや働き方
に甚大な影響を及ぼしたことは言うまでもありません。そ
のようなコロナ禍の中で私達グループは、海運、物流が地
域経済やくらしを支える極めて重要な社会インフラであり、
我がグループがその役割を担う存在として「船は止めない」
「物流は止めない」という社会的使命の遂行を果たすべく、
感染予防との両立を図りながら、懸命に頑張ってきました。

当社については、とりわけエッセンシャルワーカーとし
て現場を守り続けた海上乗組員の皆さんには、感染リスク
の不安という心理的負担などのご苦勞をお掛けしましたが、
皆さんの果敢な奮闘に支えられ、当社はその果たすべき使
命を着実に成し遂げ、地域のくらしと経済に物流を提供し
続けています。社長としてまず何よりも皆さんの社会貢献
に対し感謝申し上げます。

振り返りますと昨年は、社内外で大きな転換を迎える出
来事がありました。

まず日本の内航海運で、半世紀以上にわたり続いてきた
船腹調整事業が紆余曲折を経て昨年8月を以て終了いたし
ました。船舶の建造供給に関する規制が終焉し、これから
は自由建造の時代に入ります。

一方社内では、新造船「あやはし」の竣工や「RKK博多
港総合物流センター」の完成がありました。近年我が社は設
備投資に注力してきました。その結果、会社の規模が急ピツ
チで大きくなり、創業から70年を経て、「大会社」の仲間入
りを果たすことになりました。これは当社にとって歴史的
な節目だと思っております。これまでも、そして今も当社
は社会的影響力の大きな会社ですし、これからもその果た
すべき重要な役割は不変です。それに加えてこれからは「大
会社」にふさわしい内部管理統制システムの強化等組織・管
理体制の構築が求められることとなります。

さて当社では、「選ばれる総合企業へ」変化へのさらな
る挑戦―」をスローガンに、第五次中期経営計画が昨年4
月にスタートしました。

新型コロナウイルスや原油価格の高騰等、想定外の影響もあり、「目
標経営指標」はこの間計画を下回っておりますが、今年も、
一日も早く回復軌道に乗せ、目標を達成すべく全力で頑張
らなければなりません。

昨年11月、私達の手元に「ブランドブック」が配布され
ました。琉球海運の「企業価値は何か」「どのようなありた
いか」等、大変大事なことがしたためられています。
RKKの「ブランドコンセプト」は「変化を未来に導く挑
戦者」です。皆さんにはぜひこのBOOKに目を通し、何度
も確認して欲しいと思っております。

もう間もなく豊見城市長堂の旧製糖工場跡地に、来年夏
のオープンを目指した「琉球ロジスティクスセンター」の建
設が始まります。本物流センターはイオングループとの連
携で実現することが出来ました。物流と商流のトータルサー
ビスが本格化します。開業に向け万全を期して準備してい
きたいと思っております。

本プロジェクトも「中期経営計画」や「ブランドコンセプ
ト」で掲げた「変化への挑戦」を具体化するものです。困難
や失敗を恐れ、何も挑戦しない企業はやがて淘汰されます。
社会は常に変化し進化しています。本プロジェクトも挑
戦の一つです。しっかり対応し関係者の信頼に応えていき
たいと考えます。

我々を取り巻く社会は今、SDGSや環境問題が大きく
クローズアップされています。2050年のカーボンニュ
ーラルに向けた海上の取り組みも加速していきます。まず
は出来ることからしっかり対応していくこととなります。

今年も新型コロナウイルスがしばらく続くと思いますが、
皆さんにはしっかり予防対策を取ってもらい、与えられた
職務に精励して欲しいと考えます。

グループ各社の一層の発展と全船舶の航海の
安全そして皆さんとご家族の安寧を祈念し
私の年頭の挨拶とします。

琉球海運株式会社
代表取締役社長

宮城 茂



株式会社沖縄急送

代表取締役社長 長嶺 直



◆当社のトップニュース
2020年11月1日に創立45周年の節目を迎え、2021年を跨いで様々な45周年記念事業を実施した。特に力を入れたのが、浦添市社会福祉協議会が取組んでいるフードドライブ「お福分けプロジェクト」への参加。社会貢献できる機会を得られたことは、当社の貴重な財産となった。

◆今年の抱負
物流の側面から社会的インフラを担う当社としては、人口減少及び高齢化に伴う労働力不足への対応が事業を維持・継続していくためにも不可欠である。

使命である沖縄の物流網を維持していかなければならない、そして脱炭素社会にどう向き合っていくのか、様々な課題に10年先を見据えて取り組んでいきたい。

◆今年チャレンジしたいこと
「Simple and strong」をテーマに、例えて言うなら「100年住宅」を目指し、心身共に健康でいられるよう体幹を鍛え直す。具体的にはエアロバイクでの運動を、現状では10分間しか漕げないが、50分到達を目標とする。(あくわよくば飛距離もアップ)

沖縄港運株式会社

代表取締役社長 島袋 完徹



◆当社のトップニュース
今年の干支は寅。新しい芽が成長する、新しい日常が始まる年とされています。期待を込め一年を過ごしましょう。

昨年からは中城湾港地区でのバイオマス発電に係る原料の荷役、保管、横持ち料を請負っております。バイオマス発電は「カーボンニュートラル」と言う考え方に立っており、大気中の二酸化炭素増加に繋がらない地球環境に優しい発電事業であり、その一端を担う作業をさせて頂いている事に心より感謝しております。

◆今年の抱負
地元をしっかり根付き、地元の将来に向けしっかり支えていく事が、企業本来の役目であり、島嶼県沖縄の経済、県民の生活を豊かにし、未来永劫支えていく事が海上物流を担う琉球海運グループ各社の役割ではないかと思えます。その海上物流の一端を港湾作業に於いて担っております弊社の労働力の継続的確保が、島嶼県沖縄にとって重要な事項だと思っております。沖縄港運は労働力・人材の確保を念頭に於き、会社一丸をなす取り組んでいきたいと思えます。

◆今年チャレンジしたいこと
コロナ禍で休眠しておりましたマラソン再開へのチャレンジ。高齢の自分に不安はありますが、一歩一歩前を向いて頑張っていきたいと思えます。

株式会社沖縄輸送サービス

代表取締役社長 翁長 孝蔵



◆当社のトップニュース
昨年四月、弊社東京支店は有明4号地ふ頭内に新設された都営西上屋へ、六月には福岡支店がRKK博多港総合物流センターにそれぞれ移転し、社員一同心新たに業務に精励しております。また、東京支店は琉球海運(株)東京支店様のご協力を頂き倉庫内作業ヤードを拡充、さらに今年二月は冷凍ヤードに、大型野外テントの設置が決定しております。

◆今年の抱負
新年明けましておめでとうございませう。今年の干支「寅」という文字は「引(ひきのばす)」「伸(のばす)」と同じ語源で、昨年の丑年に芽吹いた発展の前途が伸びゆく年とされております。昨年の萌芽が、より大きく育つ年となるよう、関係各社との連携を密にし、社員一丸となって更なる新規貨物の獲得と、計画的輸送の推進を図る所存です。

◆今年チャレンジしたいこと
私の今年の目標は、在京中に富士山へ登頂し御来光を拝すること、次に、ゴルフを始めたい若い社員たちへ先達の知恵を教授すると共に、エイジシユート達成するべく一層の体力維持・増強に励むことです。また、休暇を取ることであれば、ゆっくりと見知らぬ土地を旅してみたいと思えます。

宮古港運株式会社

代表取締役社長 砂川 恵映



◆当社のトップニュース
宮古港運本社外壁改修工事 創立65周年記念事業の一環として、去年9月より実施しております。本社社屋の修繕塗装工事が完了しました。弊社の社屋は、築60年と古い建物となっており、外壁はひび割れや塗装剥がれ、コンクリート片の剥落の恐れがあり、大変危険な状態となっていました。きれいにリフォームすることができ、気持ちも新たに地域社会に貢献していきたいと思えます。

◆今年の抱負
「社員を分け隔てなく大切に」 島しょ県の生活を守る運送業は地域社会にとってなくてはならない会社である。わが社で働く社員一人一人がそれを自覚し、ここで働いてよかったと満足できる会社を目指す。意欲を持って働いていける会社にする。その先には企業の発展、ひいては島の発展があると思えます。社員への教育の充実と、待遇改善に力を入れたい。

◆今年チャレンジしたいこと
近年、デジタル化の波が押し寄せている。行政、企業、金融機関、生活など、行政では2021年デジタル庁が発足、マイナンバー、スマホ決済、オンライン会議、また世界情勢や国内情勢などをインターネットで情報収集することも手軽にできる。様々な分野でデジタル化が進む中、IT技術関連の習得、勉強にチャレンジしたい。また健康な体づくりとしてフィットネスクラブにもチャレンジしていきたい。

沖縄荷役サービス株式会社

代表取締役社長 阿野 一郎



◆当社のトップニュース
5期10年に渡り弊社の代表取締役社長であった新垣益幸の退任に伴い、後任として代表取締役に就任しました。コロナ禍での厳しい環境ではありましたが、役員一同一致団結し新体制でのスタートを切ることができました。

◆今年の抱負
「経営理念・基本行動指針」の浸透、「物流業務品質」の強化を図り、「選ばれる企業」、「安心・信頼される企業」、「職員が豊かさを感じる企業」を目指します。その為に、基本である人材育成にさらに力を入れ、一人一人の人間力向上を目指します。

◆今年チャレンジしたいこと
「目指せトリプル100」を掲げてきました。昨年度体重100・ウエスト100を切る事ができました。今年ももう一つの100、ゴルフで100を切る。これまではブリービー賞もしくはブリービー賞が指定席でしたが、そこから脱却し最後の100切りを達成したいと意気込んでいます。

八重山港運株式会社

代表取締役社長 新川 正人



◆当社のトップニュース
2021年においてのトップは、社屋の補修工事とお色直しになります。グループ報vol.297 (Spring 2021)にも取り上げて頂きました。が、コンクリートの剥離修繕、外壁の全面塗装及びあらたに八重山工芸を代表するミンサー柄を建物正面に据え、今後も当地にて五(い)つ(の)四(よ)までも末永く親しまれる企業を目指します。

◆今年の抱負
2020年よりスタートしたコロナ禍の収束を切に願う本年、先島地区においては同業他社のRORO船就航に伴い与えられた環境にも変化が有る事は必至。役員員の取り組みにおいて安全を最優先にサービスの品質、維持向上が成せるか。日々、試行錯誤でも成果を得ねばならない年です。

◆今年チャレンジしたいこと
ミンサー柄の映えた社屋に対し、社屋前、雑草の生い茂る港湾課所管の遊歩道脇植栽を美化管理すること。隣接する美崎運輸も含め近隣の会社は既に植栽を管理していることから当社も勝手に始めました。後に港湾課より植栽計画書の提出を求められるも、了承を得られたことから土の掘り起こしに始まり肥料を入れ、職員を巻き込み着々と計画(何を植える?花木、ゴーヤー、バナナ...)は進行中です。



寅・虎・トラ!

『虎溪三笑(こけいさんしょう)』という四字熟語があるが、その意味は、中国四世紀の文化人陶淵明ら三人が歩きながら話に夢中になり、いつの間にか虎の棲む恐ろしい山中に入っていることに気が付き、大笑いをしたこと。つまり(物事に熱中し、他のすべてを忘れてしまうこと)。

かかるテーマは画家の絵心をそそるらしく、この絵を「奇想の系譜」で一躍有名になった蘇我蕭白の外、かの横山大観、橋本関雪らも描いている。蕭白は私の好みではないがこの絵だけは楽しい。三老人の笑顔がたまらない。ちなみにこれらは、

絵画

諺①

『虎は死んで皮を残す』。

語釈は巷に有名なので省略し、山城バージョンを紹介。「琉海は永遠死なず、常に後継者に美田を残す」。

琉海リース(株)は、今後とも琉球海運(株)はじめ当グループの業務改善にいささかなりともお役に立てるよう精進しますので、引き続きご高配をくださいますようお願いいたします。

寅年なので、トラにまつわる茶話をあれこれ。

映画

首都圏の美術館で気軽に鑑賞できるので興味のある向きはそちらへどうぞ。

映画

『トラ・トラ・トラ!』(20世紀フォックス、1970年、監督・深作欣二他、制作費は約90億円とも110億円とも)「世界のクロサワ」が制作途中で解任されたわく付きの真珠湾奇襲巨編。解任の原因は、黒澤の精神不調説、スタッフとの不仲説など色々あるが、私は黒澤の金遣いの荒さと凝り性のせいではなかったかと思っている。そう、彼は予算と期限オーバーの常習犯であり、『七人の侍』などの名作への賞賛は、その犠牲の上に立っていたのである。

ここで、私が見た荒唐無稽な初夢を紹介するので、お正月のよしみでお付き合い願いたい。

(魔法使いが登場)「オマエに望むだけのカネをやるうーさあ、いくらで、何に使う?」

(夢の中の私)「500億円くれたら黒澤明に好きな映画を作らせる」

諺②

『虎は一日に千里を走る』。

(行動範囲が広く、勢いが盛んなさま)。

当グループは、今年も迅速で他を圧する行動力をもって邁進しよう!



◆当社のトップニュース

RKKグループの皆さま、初めまして、令和3年6月にグループの(株)九州輸送サービスに代表取締役として選任されました宇都宮剛と申します。今後とも宜しくお願い致します。

さて、令和3年のトップニュースは、令和3年6月7日にRKK博多港総合物流センターを開業したことです。グループの皆さま福岡においての節は、是非お立ち寄りください。

◆今年の抱負

当社の使命は、九州と沖縄を結ぶことで沖縄県民皆さまの暮らしの向上に貢献することです。今年は、この絆をより強くより強固にして参りたいと考えています。役員一同、健康で笑顔のある職場を作り上げていきます。寅年にあやかり「真っすぐに業績を引き延ばして参ります」

◆今年チャレンジしたいこと

昨年、深秋の頃、30年ぶりにゴルフを再開しました。百八の煩惱に三十の更に強い課題を加えた結果でありました。でも、ここからは昇竜の如く駆け上がるのみと慰めております。先ずは、礼を確認し、左右に打ち分けることなく真っすぐに打つことを心がけたいと思います。上半期で二桁を目標とします。



◆当社のトップニュース

コロナ禍で世の中が大変である中、当社では12月1日現在社員とその家族で一人も感染者が発生しなかった事が良かったです。小中学生を抱えながら頑張ってくれ感謝しています。しかしまだまだこれから先も不透明なので、更なる注意を心掛けていきたいと思えます。

◆今年の抱負

旧年はコロナ禍で景気の動向が不透明の為トラックの代替えの購入を先延ばししドライバーには耐えてもらいました。SDGsや燃料の値上がりを考慮すると厳しくとも新車を取り込み経営内容の向上を目標として進める計画です。

◆今年チャレンジしたいこと

私自身の年齢になるとチャレンジとか変化に対しては臆病になり健康が一番と自分勝手な流れで逃げ切ってます。私の時代は日本復帰前で教科書は沖縄専用の本でした。日本歴史の知識は浅く今もよくわからないことが多いので日本の戦国時代のお城に関連する書物を読み漁って見て今後の見聞を広げて自身の糧にしたいと思えます。



◆当社のトップニュース

今年新たな年のスタートに石垣島で行われる千葉ロッテマリーンズ(プロ野球キャンプ) 機材輸送を受託する事が出来ました。コロナ禍のきびしい状況が続いている中、明るい話題の一步に携わることが出来まして嬉しく思います。

◆今年の抱負

本年はコロナ禍の経済状況から学んだ教訓を生かし、新たなビジネスモデルの進化を捉え、物流事業の拡大と人材育成・処遇改善を図り、企業としての価値・向上・競争力の強化に取り組みを参りたいと思えます。

◆今年チャレンジしたいこと

コロナ禍、規則正しい健康的な生活を送った事で、昨年の健康診断結果は大きく改善しました。

今年は、せっかく得られた健康な体を維持すべく、節度ある会食、飲酒を心がけたいと思います。又、来年は還暦を向かえる年なり、体力維持にも務めたいと思えます。



沖縄荷役サービス株式会社
(琉球海運株式会社福岡支店出向)

比嘉 貴之

birth1986

失敗を恐れずに何事にもチャレンジをして、自分自身のスキルアップを目指します。仕事と家庭を両立して有意義な一年になるよう努めます。ちなみに僕のイニシャルはTHです。

虎視
眈々



宮古港運株式会社
配送部 課長

新城 憲昭

birth1974

年を頂くのは早いもので、四回目の年男となります。まだまだ伸びしろはあると思いますが、アラフィフなので無理をせず、体と相談しながら精進していきたいと思っています。今年も宜しくお願い致します。

置かれた場所で
咲きなさい



八重山港運株式会社
営業部 次長

糸洲 朝俊

birth1974

挑戦の年にしたい。新しい事にチャレンジし、自己を磨き上げ、ピカピカに光輝かせてみたいと思います。

- 前泊善広(琉球海運)
- 山川苗子(沖縄急送)
- 尾形民雄(琉球海運)
- 譜久村尚(琉球海運)
- 仲里弘一(琉球海運)
- 高安直喜(沖縄急送)

昭和37(1962)年生

- 山城淳(沖縄港運)

昭和49(1974)年生

- 比嘉一也(沖縄急送)
- 山内昌貴(沖縄急送)
- 屋宜俊之(国際輸送)
- 喜屋武司(琉球海運)
- 宮城竜也(沖縄急送)
- 池間幸乃真(宮古港運)
- 當間義貴(沖縄港運)
- 上原仁(沖縄港運)
- 谷代剛(沖縄輸送サービス)
- 仲田亮子(沖縄港運)
- 前泊憲尚(沖縄荷役サービス)
- 西原昭憲(宮古港運)
- 徳永禎(国際輸送)
- 仲村知寿子(沖縄港運)
- 上間誠(沖縄港運)
- 神元繁邦(沖縄急送)
- 仲間輝治(琉球海運)
- 津波英幸(沖縄港運)
- 新城憲昭(宮古港運)
- 與那嶺修(国際輸送)
- 知念克能(沖縄急送)
- 川崎尚子(沖縄荷役サービス)
- 富永政柳(八重山港運)
- 宮城勝広(沖縄港運)
- 大城誠(沖縄港運)
- 永山豊(沖縄港運)
- 上間祐作(琉球海運)
- 金嶺亨(沖縄急送)
- 小渡弘一(沖縄急送)
- 又吉琢磨(沖縄港運)
- 金城晶子(沖縄急送)
- 渡嘉敷克裕(沖縄港運)
- 小澤剛(沖縄輸送サービス)
- 根間政史(沖縄荷役サービス)
- 糸洲朝俊(八重山港運)
- 古波倉正照(沖縄急送)
- 林修治(琉球海運)

昭和61(1986)年生

- 崎間晃司(沖縄港運)
- 宮城正基(沖縄荷役サービス)
- 安里忠司(沖縄港運)
- 儀間友輔(琉球海運)
- 三浦隼人(国際輸送)
- 渡具知京介(琉球海運)
- 玉城充貴(琉球海運)
- 平良悠哉(宮古港運)
- 新垣優紀(琉球海運)
- 丸山勝秀(沖縄急送)
- 大宜味誠(琉球海運)
- 高江洲圭吾(沖縄急送)
- 新垣友希(国際輸送)
- 上地宏典(八重山港運)
- 川上剛平(沖縄港運)
- 潮平寛彩(沖縄港運)
- 大城大地(沖縄荷役サービス)
- 仲里孝之(沖縄港運)
- 大湾千夏(国際輸送)
- 仲里千都世(沖縄港運)
- 比嘉貴之(沖縄荷役サービス)
- 池原正人(沖縄港運)
- 宮城凛(沖縄港運)
- 上良脩人(沖縄港運)
- 国吉楓香(沖縄急送)
- 宮里大湖(沖縄港運)
- 砂川勇介(宮古港運)
- 座間味永都(沖縄港運)
- 當間敬太郎(沖縄荷役サービス)
- 中村光一(沖縄荷役サービス)
- 松田博光(琉球海運)
- 平井孝彦(沖縄輸送サービス)
- 平田哲也(国際輸送)
- 砂川将人(沖縄急送)
- 伊佐大祐(沖縄荷役サービス)
- 吉井直樹(九州輸送)
- 西原史倫(国際輸送)
- 石垣良憲(琉球海運)
- 永山博一(国際輸送)
- 松本翼(琉球海運)
- 知念勇太(国際輸送)
- 宮城達也(沖縄荷役サービス)
- 屋我星太(琉球海運)
- 儀武睦之(琉球海運)
- 與那嶺潤(沖縄急送)
- 山城考史(宮古港運)
- 山城秀人(琉球海運)
- 大城宝也(沖縄急送)
- 許田勇次(沖縄港運)
- 宮城凛(沖縄港運)
- 金城明李(沖縄急送)
- 上原佑貴(琉球海運)
- 仲地邦英(琉球海運)
- 友利彰史(宮古港運)
- 上地博之(宮古港運)

株式会社九州輸送サービス
常務取締役

西岡 都毅

birth 1962

寅年は、芽を出したものが成長する。新しい日常が始まると言われています。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の姿勢で邁進します。

雲外蒼天



株式会社沖縄急送
那覇港営業所

金城 明李

birth1998

入社して半年！やっと業務に慣れてきたころですが、引続きインプット・アウトプットを意識しながら色々な仕事に挑戦していきたいです。慣れない仕事で失敗してしまっても「ピンチはチャンス」のポジティブ精神で、成長が止まらないよう努めていきます！

インプット・

アウトプット



沖縄港運株式会社
営業部

宮里 大湖

birth1998

新入社員の宮里です。2022年は会社に貢献できるよう頑張ります。大谷翔平選手のように、仕事でもプライベートでも活躍していきます。



孫の結婚式には
ボロボロに参加!

人生一〇一歳迄
生き抜く



琉球海運株式会社
あやはし 機関長

仲宗根 忍

birth1962

残り少ない海上生活及び職務を一日でも長く全うし楽しく満喫出来るよう頑張りたいです。後輩の鏡になるよう意気込み老体にムチを打って頑張る所存であります！



Interview

わたしの仕事

第五回



なにわと沖縄のパイプ役に

琉球海運株式会社 大阪支店 主任 堀 圭介

2017年4月入社 大阪支店配属、現在に至る

機材不足や、急なスケジュール変更が発生すると荷主様からの問い合わせが集中し慌ただしくなります。また、大阪に限れば地域柄、荷主に関西弁でまくし立てられることもあり、嫌になります。電話も途中で切りたくなる事もありますが、沖縄の生活を支える一部を担っていることを誇りに頑張っています。

仕事で大変なこと、苦労することはありますか？

現在の仕事内容を教えてください。
主な業務は、大阪航路の船舶のブックイング業務、輸送案件に関して荷主様へ輸送方法の提案、見積り等の作成、大阪航路貨物の集荷配送手配等です。
今までは、トレーラー等輸送機材の管理、ステへの日本通運殿との荷役に関しての勘定、メーカーの輸送窓口も経験しました。
また、大阪航路だけでなく、依頼があれば他航路の輸送案件や沖縄本島、先島での集荷配送の提案や手配も行っております。



PROFILE

琉球海運株式会社 大阪支店 主任 堀 圭介

大阪府和泉市出身 関西大学法学部卒
身長:181cm 体重:85kg 足のサイズ:28.0cm
一児の父 苦手な食べ物:キュウリ、イチゴ、あんこ

仕事のやりがいと思いつくエピソードを教えてください。
荷主様(乙仲)から、輸送案件の相談や見積もり等の問い合わせが私宛に来ることが増えてきたときに少しずつ信頼を得られてきたのかなとやりがいを感じております。
また、台風の影響で大阪ワンポート配船となった時にブックイングを担当し、1航海で積み吨数10,000トンを超した時には本船出港後達成感が溢れました。(ドライコンテナ2555本、トレーラー85台、商品車285台、他)

グループ経営ビジョンの精神の下、
琉海グループの相乗効果を創出する。

琉球海運株式会社 グループ戦略室

2016年に諮問機関として新設されたグループ戦略室は、県内大手金融機関から出向者を招き(現在3代目)、2018年にはグループ経営ビジョン「強く・より良く・新しく」を策定、ジュニアボードクラブの運営により社内及びグループ各社へビジョンの浸透活動を行っています。現在は、物流施設開発と新規事業及び関係会社運営規程を管掌することとなり、グループ各社の経営支援や2023年6月竣工予定の「琉球ロジスティクスセンター」の施設開発に携わっています。

グループ全体で取り組むプロジェクトの推進役として、今後益々重要な役割を果たす部署がグループ戦略室だと思っております。



また、グループ各社の意見箱として、お困り事がありましたら一緒に解決に向け取り組んで参りますので、遠慮無くお声がけください!

Leader's Voice
立ち上げから早5年、社内外での認知度も向上し特にグループ会社には何かと頼られる存在になってきており、より重要な部署に成長しつつあります。当初からの在籍者は私一人だけになってしまい、現メンバーも4名となり寂しい限りですが日々課題解決に取り組んでいます。皆さん!グループ経営ビジョン「強く・より良く・新しく」を忘れずに!!
(室長 宮城 勝)

RKKグループビジョン
強く、より良く、新しく。
Get Stronger, Make Better, Ready for a New Challenge.
【強く】あらゆる機能を充実させ、総合物流グループとして確固たる地位を築く。
【より良く】お客さま・地域・社員に対して、より良いグループとなる。
【新しく】社会の変化や技術革新の波をとらえ、グループの新たな成長の原動力とする。

部署メンバー紹介
Leader 宮城勝 室長 大塚遼平 課長代理
吉濱実哲 係長 有馬真矢 係長



沖縄荷役サービス 株式会社

令和3年
第一期優秀安全運転事業所表彰

銀賞（営業部 外航・代理店課）



当初7月の表彰式予定でしたが緊急事態宣言等により10月に行われました。

次年は金賞を目指し安全運転に努めていきます。



沖縄荷役サービス 株式会社

令和3年度 税関記念日
税関業績者等表彰式

吉里 真弘（営業部 外航・代理店課）



11月26日(金) 令和3年度税関記念日 税関業績者等表彰式が那覇空港税関支署で行われました。通関士免許を取得して約17年、これからも精進して参ります。

RKK Group News

琉球海運グループ内の出来事あれこれお知らせします

八重山港運 株式会社
与那国小学校での職業人講話



与那国小学校4～6年生(40名)



児童たち「はいっ、は～いっ!!」

11月30日、日本最南端の地「与那国島」にて、小学校4～6年生を対象とした「未来の産業人育成事業 職業人講話」が開催され、当社より総務部の宮良次長が講師を行った。「与那国の大自然で育った子供たち、キラキラとした瞳・元気な声・溢れる脱線話(〇×クイズほか)で時間も忘れ、予定された講話時間も一瞬だった」との事。(後日談)

日本という島国、更には三次離島となる与那国島における物流(海上輸送)の重要性、物流を取り巻く様々な職業について、広く興味・関心を持ってもらえること、ひいては将来履歴書を持参してくれる学生がいることを期待したい。

湧川運輸 株式会社

新聞掲載記事紹介

10月28日(木)付け宮古新報に湧川運輸(株)の湧川社長の記事が掲載されました。



宮古新報提供

琉球海運 株式会社

クリーンアップ活動

11月27日、2015年より毎年恒例となっている琉球海運(株)本社周辺地域(那覇市西町～東町)のクリーンアップ活動が開催されました。

毎日の通勤で使用している道ですが、目を凝らしてよく見てみると、草むらの陰に潜むゴミ達を多く目撃することができました。ゴミの種類はペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻等様々でした。小雨がちらつく中でも当活動に参加した子どもたちは楽しそうにゴミ拾いを行っており、私たち大人も元気をもらえました。これからは綺麗な道を通っての通勤が楽しみになりそうです。

天候が優れない中ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。



めりえコンテスト 受賞作品紹介



グループ報『りゅうかい』300号を記念してめりえコンテストを開催しました。応募総数は69点でした。どの作品からも一生懸命さが伝わり、中にはプロ画家顔負けの作品も!!

たくさんのご応募ありがとうございました!

未就学児部門

最優秀賞



宮里 りつき くん (沖縄荷役サービス 宮里 千賀子様)



優秀賞

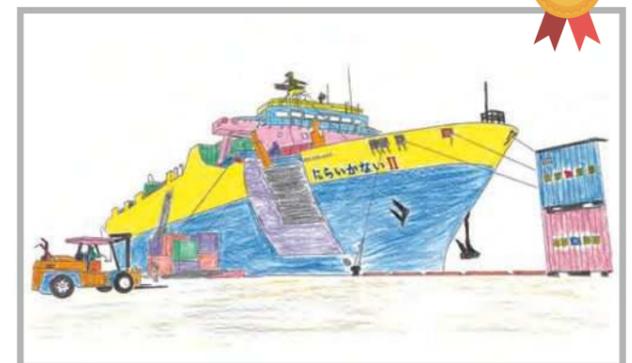


久手堅 奨 くん
(琉球海運 久手堅 丞哉様)



小学1年~3年生部門

最優秀賞



柴田 草原 くん (沖縄輸送サービス 柴田 千春様)



優秀賞



小嶺 蒼 くん
(沖縄港運 小嶺 鷹介様)



小学4年~中学3年生 部門



最優秀賞
島仲 紗妃 さん
(琉球海運 島仲 泰伍様)



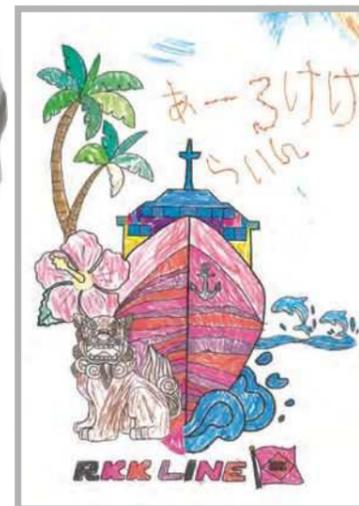
優秀賞



前里 蓮太郎 さん
(沖縄港運 前里 光太郎様)



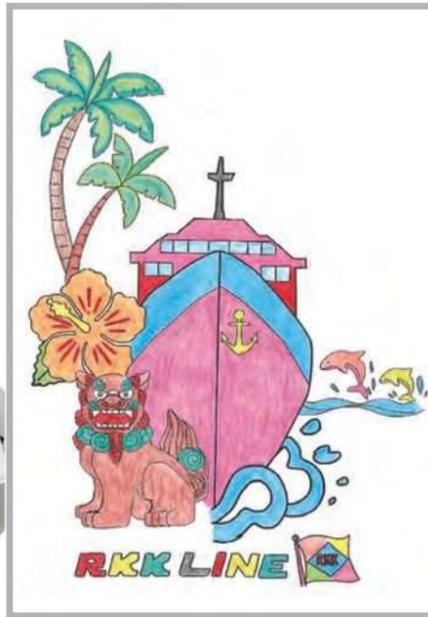
デザイン賞



東門 舞羽 ちゃん
(沖縄荷役サービス 東門 龍生様)



高校~大人 部門



最優秀賞
仲本 玲奈 様
(沖縄急送)



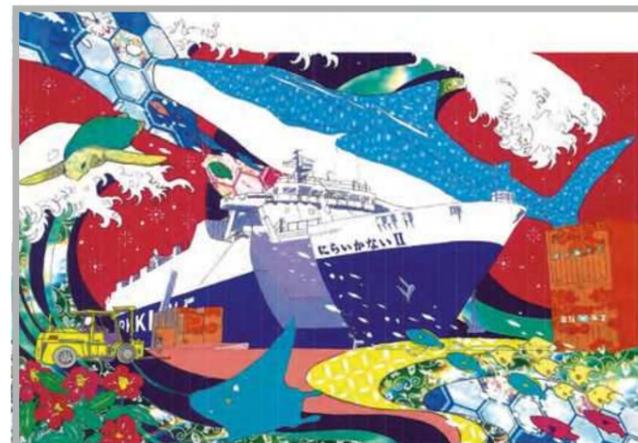
優秀賞



金城 常義 様
(八重山港運)



藤田 真理絵 さん (琉球海運 藤田 真紀生様)



琉球海運株式会社 営業部

又吉正一郎

「厦門」と書いて「アモイ」と読む

皆 様、你好(ニハオ)。京阪神航路担当の又吉と申します。郷愁の投稿にあたって、本来なら出身地の「浦添市」について書くかと思いましたが、留学時期を過ごしたあまり知られていない中国/福建省南部の「アモイ」と呼ばれる地域について紹介したいと思います。

沖繩から直行便がないアモイ市は、飛行機で上海や香港もしくは台湾を乗り継ぎ約8時間の距離にあります。地理的に台湾や沖繩と非常に近く、年平均気温21℃、亜熱帯季節風気候で4〜8月に雨が続き台風も多いです。観光や気候それに豚肉料理など沖繩との類似点が多い為、沖繩生まれの私としては非常に過ごしやすい場所でした。市街地は東西13km、南北14kmの小さな円形の厦門島があり、2つの大きななつり橋(海倉大橋と集美大橋)で郊外(大陸側)とつながっています。市街地には、各遠方より働き場所を求めている外省人がとても多く、買い物などの生活上で北京語を話す機会が多く、現地の方言(閩南話/ミンナン語)をあまり知らない子供たちは小学校の必修科目として授業で習うと現地の友達から聞かされ、うちな一口をあまり知らない自分が少し恥ずかしく感じたのを思い出します。



写真元(世界遺産の土楼):
https://www.veltra.com/jp/asia/china/xiamen/ctg/160125:World_Heritage/

アモイの歴史として、18世紀イギリス軍に占領され、翌



写真元(アモイ市街地):
https://www.jonpan-rtw.com/160104.html



華僑大学の卒業式

年には外国に対して開港を行い茶葉などの積出港としてアモイ市は海外に知られるようになりました。20世紀初頭に建てられた洋館も数多く残され、外国人観光客や留学生なども多く、異国情緒あふれる不思議な街並みとなっております。

郊外には、UF0のように見える巨大建築の「福建土楼」と呼ばれる世界遺産があり、土楼に住んでいた客家と呼ばれる一族が未だに生活しており、一族の中で優秀な人材を選定し、お金を集めて海外へ送り出したとの逸話も残っています。福建省は山間部が多く点在しており、生活の改善を求めて多くの福建人が海外へ移住している。(※福清と呼ばれる地域は、特に日本への移住者が多い)そうした福建人の華僑(※海外へ移住した中国人の子供)が、お金を出し合って設立した「華僑大学」と「アモイ大学」で、勉強できたことに感謝しております。国は違えど、海外で故郷を思い、その為になにが出来るのか色々考えるきっかけとなった異国体験でした。コロナ禍が収まったら、旧友達が残っているアモイへ再訪しようと思っています。



長嶺純 草加松原

琉球海運株式会社 企画部

郷 愁を感じる場所の一つに、大学時代に住んでいた街、埼玉県草加市があります。当時住んでいたアパートのすぐ近くには、ウォーキング&ランニングコースとして利用していた遊歩道があり、そこは約1.5キロメートルの松並木が続く「草加松原」と呼ばれる国指定の名勝地でもありました。かの俳聖松尾芭蕉「奥の細道」の作品中にも登場し、旧日光街道と並行して続く草加松原はどこか風情を感じられる場所でした。

また、草加市といえば、地元の名産である草加せんべいがあります。草加せんべいを初めて食べたのは、年に一度草加市で行われる「草加宿場祭り」がきっかけでした。草加宿場まつりは、江戸時代に日光街道第2宿場町として栄えた草加宿の賑わいを再現したイベントで、大名行列や若衆による神輿パレードが行われる一大イベントでした。イベント内では、熟練の職人がせんべいを1枚1



草加松原「松並木」



枚丁寧に手焼きしている様子を見学することが出来、実際に手焼きを体験することもできました。押し瓦という道具を使って堅焼きする独自の手法と、またそのせんべいを食べたときの味には驚きました。普通のせんべいより堅さがあり、口の中でバリバリと砕ける食感と同時に広がる醤油の香り、また原料のうるち米の甘さのせいか、噛むほどに味わい深いものでした。それ以来、草加せんべいをよく手にとるようになりました。

草加市には草加せんべいのお店だけで約70店舗、中には1枚千円以上する高級草加せんべいを扱うお店もあります。現在では空港の土産ショップでも見かけるようになり手軽に買うことができるようになりました。関東に立ち寄った際は、草加市名産の草加せんべいを食べてみてはいかがでしょうか。



草加宿場まつり



豪華賞品(草加煎餅)がもらえる宿場スタンプラリー

写真で振り返る
琉球海運

グループ報「りゅうかい」
300号記念

りゅうかい報の変遷とニュース



第135号



第200号



カイカイ リュウくん



第1号



第182号



第211号



第282号



第296号

第1号/1978(昭53)年6月10日発行

「琉海ニュース発行」

当時の誌名は「琉海ニュース」、第1面は新造船“ぶりんせすおきなわ”に命名決定、第2面はアクアポリスの運航委託契約締結であった。

第135号/1991(平元)年12月20日発行

「福岡国際フェリー設立」

韓国の世邦企業と合弁会社福岡国際フェリー株式会社を設立。九州初の韓国航路として初年度に貨物10万屯、旅客1万人を見込んだが、結局1年弱で航路撤退、会社清算となった。

第182号/1995(平7)年2・3月号

「更生手続終了」

更生手続終了時の第1面。1976(昭51)年からスタートした更生計画は予定よりも早く終結し、会社設立45周年と共に新生琉球海運としてスタートした。

第200号/1998(平10)年4・5月号

「グループ報へ」

200号を記念し、琉球海運社内報から琉球海運グループ報へ転換した。グループ間の活性化と結束を強める目的の下に各グループ会社から編集委員を選任し、作成を開始した。

第211号/2000年(平12)年4・5月号

「冊子タイプのグループ報へ」

新聞タイプのグループ報から冊子タイプへスタイルを刷新。グループ報キャラクター「リュウくん」と「カイカイ」誕生。

第281号/2017年(平29)年 春季号

「全ページフルカラー化」

それまで一部カラーだった紙面を、全ページフルカラー化。

第282号/2017年(平29)年 夏季号

「タイトルロゴ刷新」

表紙メインタイトルを「りゅうかい」→「RYUKAI」へ変更。表紙、誌面のスタイルやデザインの刷新が行われ、更に見やすいグループ報へ。

第296号/2021(令3)年 新春号

「新デザインへ刷新」

デザインを一新、特集記事の固定化等、グループ間のコミュニケーションツールとして更なる役割向上を目指す。

第300号/2022年(R4)年 新春号

「300号記念めりえコンテスト」

グループ報300号を記念しためりえコンテストを開催。